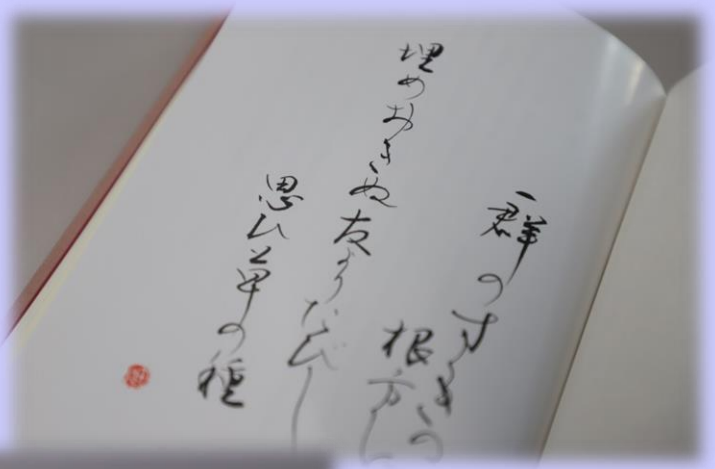

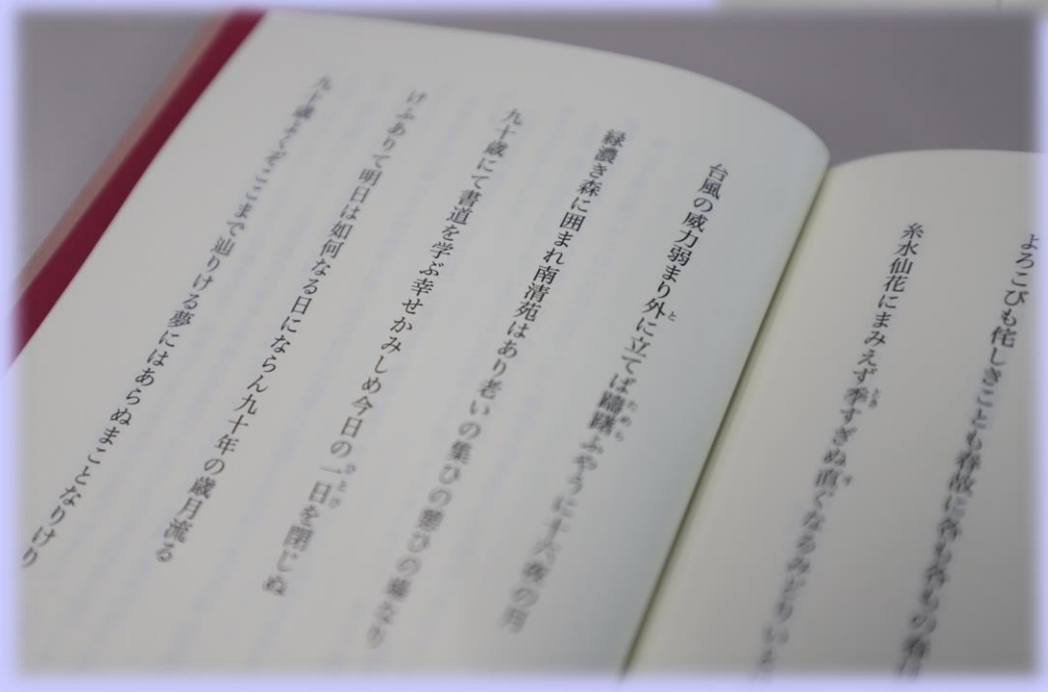

よろこびも侘しきことも春秋に香り合もの香り合もの

糸水仙花にまみえず季すぎぬ直ぐなるみどりいと

台風の威力弱まり外に立てば曙光のやうに十六夜の月

緑濃き森に囲まれ商清苑はあり老いの集ひの憩ひの場なり

九十歳にて書道を学ぶ幸せかみしめ今日の一日を閉じぬ

けふありて明日は如何なる日にならん九十年の歳月流る

九十歳までここまで辿りける夢にはあらぬまことなりけり